



<進路目標・志望校を見据えて、後半戦に臨もう！>

2学期がスタートしてから1ヶ月半が過ぎ、あっという間に10月を迎えています。センター試験の出願を無事に終えた3年生は、これから毎週のように模擬試験が続く時期に入り、受験に向けていよいよ正念場となってきました。1・2年生は、運動部の生徒の多くは今月末の新人戦に向けて部活動に熱が入り、文化局の生徒は11月の芸文祭に向けての準備に余念のない日々になってきました。

学校生活は折り返し点を過ぎて後半戦に入り、落ち着いて学習に取り組まなくてはならない時期になりました。ここまでの学習状況を振り返り、もう一度気持ちを引き締めて、目標を持った生活を送ってほしいと思います。特に、3年生の皆さんは、いよいよ受験が近づいてきていることを実感している人も多いのではないのでしょうか。なかには焦りを感じている人もいるかも知れませんが、これから受験までの数ヶ月間が高校3年間で最も伸びる時期でもあります。本番までの学習計画をイメージし、一日一日の積み重ねを大事にがんばってほしいと思います。

<大学入試センター試験 ～本校3年生273名が出願～>

9月26日(火)～10月6日(金)の11日間、大学入試センターでは、平成30年度大学入試センター試験の願書受付が行われました。本校では、9月20日(水)に受験希望者273名から提出された出願書類を各クラス担任及び進路指導部で確認した後、9月29日(金)(大安吉日)に無事出願を済ませました。

当初は理科の選択方法のわかりにくさなど不安要素の多かった現行課程のセンター試験ですが、完全実施から3年目にあたる今年度は、安定期と言える時期に入り、だいぶ落ち着いた感のある入試といえます。しかし、平成33年度入試(現中学3年生)からの新テストへの移行を前に、新しい学力観を踏まえてはつきりと問題傾向に変化が現れてきています。この傾向にはますます拍車がかかることは間違いなく、注意が必要かもしれません。また、私立大学の入学定員の厳格化に伴う合格者数の引き締めも昨年以上に厳しくなるという見方もあり、センター出願の私大入試についても、じっくりと見直しをもって検討することが必要です。

10月5日(木)には、2階エレベーターホール前の日めくりカレンダーが大学入試センター試験までの残り日数を100日と刻みました。3年生の中には、目下AO入試に挑戦している生徒や、これから国公立大学の推薦入試に挑戦する者もいますが、いずれの手段で受験に臨むにしても、皆さんの「力」が問われます。やがて来る「大学生活」を様々な視点から捉える言葉はありますが、やはり大学は「学問をする場」…。その場に見合う「力」を持って高校を卒業してもらいたいと願っています。それを試す指標の一つが大学入試センター試験…。「倦まず、弛まず、たじろがず」…3年生の皆さん、頑張ってくださいね。

今後の主な進路関係行事

【10月の予定】

- 13(金) 進路希望調査①②
- 14(土) 小論文課外③
大学別模試③
- 18(水) 生徒懇談期間①②
[～11/8(水)]
- 20(金) サイエンスフォーラム①
- 21(土) 全統記述模試③
- 27(金) 親からのメッセージ
2017①
- 28(土) 大学別模試③
県高校新人大会
[～29(日)]
- 30(月) 学校創立記念日

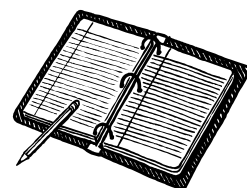
【11月の予定】

- 3(金) 進研模試①
進研模試②
[～4(土)]
- 進研駢台マーク模試③
[～4(土)]
- 大学別模試③
[～5(日)]
- 4(土) 土曜課外・講座①
- 9(木) 芸術文化祭
グランドステージ
- 10(金) 公開授業週間
[～16(金)]
- 保護者懇談会①②
科目登録締切①②
- 11(土) 土曜課外①②
土曜講座①
登校学習会②
大学別模試③
[～12(日)]
- 17(金) 試験時間割発表
- 18(土) 土曜課外①②
土曜講座①
登校学習会②
- 24(金) 先輩講話①
- 27(月) 第4回定期試験
[～30(木)]

※○数字は学年を示します

【センター試験関連スケジュール】

- ・出願期間：9月26日(火)～10月5日(木)
- ・確認はがき(登録内容確認)：10月下旬までに送付
- ・受験票等の交付：12月中旬までに送付
- ・試験実施日：1月13日(土)、14日(日)
- ・追試験実施日：1月20日(土)、21日(日)
- ・国公立大出願：1月22日(月)～1月31日(水)
- ・前期試験：2月25日(日)～



<広がる大学入試WEB出願 ～注意したい諸事項～>

Frontier Spirit!

ここ数年ですっかり定着したインターネット出願は、願書を手書きする手間が減り、記入上のミスも回避できる点で、受験生にとっても大学側にとっても好評のようです。来年度入試(現3年生対象)からは地元の山梨大学でも新たに導入が決まり、いずれはすべてこの形態となっていくのかもしれませんが、この「手軽に出願できる」イメージが強いネット出願ですが、注意したいのは、現行のネット出願は、すべての手続きをインターネットでできるものではないことです。願書の記入などはネットでできますが、調査書などの一部添付書類は郵送しなければなりません。また、受験料の支払いについても、クレジットカードのオンライン決済は、現時点ではそれほど一般的ではありません。基本的には郵便局や銀行で振り込みを行い、払込用紙に受付局日付印をもらって郵送しなければなりません。つまり、実際の手間はこれまでの出願手続きとそれほど変わらないのです。

出願手続きの煩雑さが大幅に軽減されるだろうと勝手なイメージで捉えていたがために、振り込みが遅れたり、書類の送付がギリギリになってしまったりと、直前で慌ててしまうケースも過去には少なからずあったようです。確かに便利なネット出願ですが、願書の提出期限はいつか、揃えるべき資料は何かを事前にしっかり把握し、保護者や学校の先生の協力が必要なものは早めに相談をし、具体的にスケジュールを立ててほしいと思います。

◇◆◇ 1年生文理選択・2年生科目登録 ◇◆◇

9月から1・2年生には来年度の履修科目登録を開始しました。特に1年生の多くは進学のための受験をイメージして、いわゆる文系・理系の選択をしなければなりません。懇談を通じながらHR担任の先生と密に情報交換をしてほしいと思います。本来は、学びたいという観点で履修科目を選択できるのが高校教育のシステムでなければならないのですが、上級学校への進学を考慮すると、どうしても受験科目との関連をみながら選択しなければならないのが現状です。科目選択を考えるのには、自分の志望校や少なくとも志望学部や学科については明確にしておくことが大前提になります。将来に向けて重要な選択でもありますので、ご家庭でもしっかりと相談してください。

<9月・10月の進路関係行事から ～伸びやかな成長を期待して～>



10月6日(金)には3年生を対象に、講師に駿台予備学校の目黒賢氏に来て頂き『センター試験まであと99日』という演題で進路講演会を開きました。これから残された時間を第一志望合格にこだわってどう取り組むべきかの心構えを含めてお話をいただきました。現役生は試験当日まで大きく伸びること、安易に妥協せず最後まで諦めずに第一志望にこだわることの大切さなど、3年生にとって勇気を奮い立たされるものでした。2年生は、9月にキャリア教育の一環としての職業人講話で、NHK甲府放送局長である辻村和人氏による自身の東日本大震災の報道に携わった経験に基づく貴重な講話を聞くことができました。1年生は、10月6日(金)に本校OBである安藤滋氏を講師として招き、ライフプラン講座を行いました。10月末には、各学年の保護者の皆様による「親からのメッセージ」も予定されています。人生の先輩でもあり、同じ年の子どもさんをもつ親の立場からのお話は、普段の授業ではなかなか聞くことができない有意義なものになると思います。

センター試験まで100日を切った3年生にとって、この秋は言うまでもなく正念場。「点滴石をも穿(うが)つ」をモットーに最後まで頑張してほしいと思います。不安なことも多いと思いますが、自分の積み重ねを信じて前に進んでください。1・2年生にとってもこの秋は大切な時期。1年生は、この時期に高校の勉強というものが分かるかどうかで今後大きな差が生まれます。2年生は、この秋に受験を意識して本格的に勉強に手をつけられるかが、第一志望校合格に大きな影響を与えます。「先んずれば人を制す」です。1つ上の先輩の後ろ姿に学ぶと、中長期的タイムスパンで高校生活を考えられると思います。そうしたことが「縦のつながり」を生み出します。2年生は3年生のあとを受け継ぎ、南高の牽引役という自覚を持ち始め、1年生は各種行事を通して逞しく成長して本当の南高生になるのです。



URL <http://www.kofuminami-h.ed.jp>
E-mail shinro@kofuminami-h.ed.jp

山梨県立甲府南高等学校
進路指導部